



港南小学校

学校だより

3月号

二十四節気・七十二候

< 3月の二十四節気 >

- ・ 3月5日 啓蟄
冬籠りの虫声を啓く
- ・ 3月20日 春分
春の最中夜昼平分

< 3月の七十二候 >

- ・ 啓虫蟄戸
すごもりむしとをひらく
→冬籠りの虫が出てくる
- ・ 桃始笑
ももはじめてさく
→桃の花が咲き始める
- ・ 菜虫化蝶
なむしちようとなる
→青虫が羽化して紋白蝶になる
- ・ 雀始巢
すずめはじめてすくう
→雀が巢を構え始める
- ・ 桜始開
さくらはじめてひらく
→桜の花が咲き始める
- ・ 雷乃発声
かみなりすなわちこえを
はつす
→遠くで雷の音がし始める

校長 船木 亮作

寒さが身にしみる日もあるものの、日だまりの暖かさには春の訪れを感じる頃になりました。子供たちは、学年末のまとめに取り組むとともに新年度への期待を膨らませています。子供たちはこの一年間に様々な経験を積み、素晴らしい成長を遂げました。

「港南小学校の顔」として学校をリードしてきた百六十七名の六年生も間もなく港南小学校の卒業生として巣立っていきます。卒業生と保護者の皆様には心からお祝い申し上げます。また、子供たちの成長に関わってくださった多くの皆様にも厚くお礼申し上げます。

さて、本校でも次年度に向けた準備が進められています。先日、保護者の皆様からいただいた学校評価アンケートでは、「いじめ・不登校に対する対応」「ホームページやブログ」についての二点について「分らない」と答えた方が多く、学校の取組が十分でないとのこと指摘をいただきました。特にこれらについては保護者の皆様にお知らせする機会が少なかつたと考えています。これを受けて来年度は益々教育活動の「見える化」に努めていきたいと思えます。

次に次年度の学校経営において特に大切にしたいこと及び変更する点をお知らせします。

一 行事関係

- (一) 遠足の交通手段
児童の安全（特に朝の品川駅の状況）を考え、バスで遠足に出かける学年があります。詳しくは来年度、各学年からお知らせします（各学年とも保護者ボランティアは募集する予定です）。
- (二) 運動会での昼食の対応
来年度、正門や校舎内の工事及び児童数の増加により、家族で昼食をとれる場所が少なくなってしまうと見えます。よって、昼食は児童のみで各クラスでお弁当を食べるようにします。

二 学力の充実に向けて

- (一) 放課後補充学習の充実
放課後の時間を使って補充学習を行います。
- (二) 算数少人数習熟度別指導の充実
今年度同様、できるだけ少人数で算数の授業を行います（二年生以上）。

(三) 高学年の一部教科担任制及び授業交換
すべての学級担任で学年全部の子供たちを指導する体制を作り出す。

(四) 音楽科・図工科の専科制
専科による一年生からの音楽の授業及び三年生からの図工の授業を行います。

(五) 思考力・判断力・学びに向かう人間性の育成
次期学習指導要領に掲げられた改善点の一つである「主体的・対話的で深い学び」を目指し、特に思考力・判断力・表現力等の育成を目指します。その成果を十一月二日（木）に発表します。

三 豊かな心の育成

(一) 鼓笛隊の活動の充実
地域や区の行事に積極的に参加します。

(二) ふれあいコンサート
自ら演奏し、さらに一層意欲的に音楽活動へ取り組む子供たちを育てていきます。

(三) 地域や外部の方々、専門的な指導ができる方々の出前授業の積極的な取り入れ
ゲストティーチャーの「生き様」を学び、子供たちが未来に向かってよりよい生き方ができるようにしていきます。

四 健康づくり

(一) 専門家（学校医など）による健康学習の充実
食育や保健指導などを通して自ら健康について理解を深められるようにします。

(二) ランニングクラブ・スポーツアカデミーの充実
本校の教員の特性や環境を生かし、スポーツに親しめる児童の育成を図ります。

(三) げんきアップタイムの充実
様々な運動を提供し、児童がよりよい動きを身に付けられるようにしていきます。
詳しい内容等につきましては、新年度になりましたから、学校だよりや保護者会等でお知らせします。
最後に、一年間のご支援とご協力に感謝いたします。

来年度に向けて



4月当初の主な行事予定

- 2日 (日) 桜祭り (鼓笛隊参加)
- 5日 (水) 新2年生・新6年生 登校日
- 6日 (木) 始業式、入学式
- 7日 (金) 午前授業、給食始
- 8日 (土) 土曜授業日
- 10日 (月) 保護者会 (わ、4・5・6年) 14:00
- 11日 (火) 保護者会 (1・2・3年) 14:00

副校長より

今年度も、残すところわずか一月となり、現実、教室では一人一人が一年間の成果と来年度のめあてを確認しようと、様々なまとめを行っています。振り返りますと、児童は本当に多くのことを身に付けました。保護者の皆様はお子様の成長をどのように捉えていらっしゃるのでしょうか。よく、私共は「当たり前」という表現を多く使います。しかし、身に付いた一つ一つのことを当たり前にするために、実は児童はものすごい努力をします。その陰には、保護者の方々の支えがあり

ます。もちろん、私共教職員一同も一人一人の成長を願い、必死で取り組んでいます。当たり前と言えるようになるために、様々な組や働き掛けがあることを改めて確認をしたいと思います。卒業式、修了式のとき、私共は一人一人の一年間の頑張りに賛辞を送りたいと思います。そのために、最後のひとときまでしっかりと働き掛けをいたします。改めてご理解とご協力を賜りたいと存じます。

(副校長 齋藤 幸之介)
(副校長 近藤 夏彦)

3月の行事予定

1日	水	音楽朝会
2日	木	感謝の会 (6年) 14:00 【1~5年 13:15下校】
3日	金	ふれあいコンサート (1年)、1/2成人式 (4年) 5校時 保護者会 (3・4・5年) 15:00 【4・5年 14:40下校】
4日	土	
5日	日	
6日	月	全校朝会、セーフティタイム、委員会活動
7日	火	自分たんけん発表会 (2年) 5校時 保護者会 (1・2年) 15:00 【2年 14:40下校】
8日	水	
9日	木	体育朝会・集会
10日	金	ふれあいコンサート (1年)
11日	土	土曜授業日 フレンドリータイム3校時
12日	日	
13日	月	全校朝会
14日	火	
15日	水	
16日	木	三菱重工業理科授業 (3年) 5・6校時
17日	金	三菱重工業理科授業 (3年) 1~4校時
18日	土	
19日	日	
20日	月	春分の日
21日	火	卒業式予行 (5・6年) 5・6校時 【1~4年 13:25下校】
22日	水	給食終
23日	木	卒業式10:00 (5・6年)
24日	金	修了式、大掃除 2校時 【1~5年 12:00下校】
25日	土	
26日	日	
27日	月	春季休業日始

この他に、避難訓練 (予告なし) があります。

今月の生活目標

安全で健康な生活を送りましょう。

今月のあいさつ当番

6年

表彰

日枝神社第53回奉納書初展

秀作

6年 森川 里咲

5年 白岩 凜音

出展

5年 白井 美結

5年 新野 響己

5年 野村 咲里花

第10回ギター大好きみんな集まれ

ギターコンペティション

東京甲州地区大会A2部門

金賞

6年 吉田 松太郎

東京都教育委員会・港区教育委員会

模範児童表彰

第3回全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクール

港南小学校 旧5年2組

全日本ジュニアスキー選手権大会 ジャイアントスラローム

6年 池上 大斗

港区健康づくり努力表彰

6年 佐藤 陽向

6年 永森 美緒

6年 横溝 祐悟

6年 小幡 恩

6年 菊地 浩介



	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数 (人)	27	212	201	197	189	161	164	1151

6年生より～卒業に向けて～

感謝の会

三月二日(木)には、六年間を通してお世話になった方々や地域の皆様、そして家族に感謝の気持ちを表し、成長を見ていただく「感謝の会」を行います。同時に、共に六年間を過ごしてきた友達にも感謝し、楽しかった思い出を共有し、絆を深めたいという思いもあります。

今年度は、「感謝の会」のテーマを、『みんなで、笑顔で、ありがとう！』とし、全員で力を合わせて工夫を凝らし、参加していただいた皆様に六年生の気持ちを伝えようと準備を進めているところです。

小学校を卒業することは人生のとても大きな節目です。大きな第一歩を踏み出す卒業生の前向きな気持ちを後押しするような温かく明るい会にしていきます。

(二組担任 鈴木 陽子)

下級生と関わるプロジェクト

卒業まで一か月を切りました。六年生にとっては下級生と関わる機会も残り僅かです。

そこで企画しているのが「下級生と関わるプロジェクト」です。下級生と一緒に遊ぶ内容を決めているところです。「この遊びだと一年生には難しいと思います」「六年生と下級生の差ができてしまう遊びにしない方がいいと思います」「ドッジボールをやるなら、みんなが楽しめるようなルールの工夫が必要だと思います」など、下級生のことを深く考え、よりよい時間にしてようと頑張っています。

子供たちが卒業に向けて大切にしていきたいのは、感謝を表現することです。お世話になった人にはもちろん、同じ学校で共に過ごしてきた下級生に対しても同様です。「今までありがとう」「これからの港南小学校をよろしくね」という気持ちを、遊びを通して伝えられたらと考えています。

(二組担任 照沼 純)

卒業文集

卒業に向けて文集を作成しています。卒業文集は、これまでの小学校生活を振り返り、思い出に残っていることや将来の夢を書き、「今の自分」を将来のために残しておくものと考えています。将来文集を読み返したときに「六年生のときの自分はこんなことを考えていたのか」と振り返り、自分自身に自信をもてるとういと思っています。

また、卒業文集は六年間の作文の集大成でもあります。今もっている力を全て活用して書き上げて欲しいと思っています。時間をかけ、完成に向けて少しずつ作業をしています。

(三組担任 高嶋 佑樹)



学校に感謝

「六年間お世話になった学校に対して卒業生の僕たちができることは何だろう。」多くのアイデアを出し、その中で自分たちの力でできることを考えました。

- ・屋上の整備：次の学年が畑をすぐに使えるように、草取りや土の耕しをします。
- ・学校の掃除：いつも掃除をしてもらっている用務主事と協力し、六年生ができる範囲で学校をきれいにします。
- ・三旗の修理：六年生が毎日揚げていた三旗ですが、端のほうが少し痛んでいるので、家庭科で身に付けた裁縫の技能を生かしてきれいにします。

さくらごまるくんの修理：五十周年記念式典のときに作った港南小のマスコットですが、三年経って少しほつれてきたところがあるので、きれいに補修をします。これらの活動を通して学校への感謝を表します。

(四組担任 青木 良太)

特別活動部より

六年生を送る会

二月二十一日(火)に六年生を送る会が行われました。一年生から五年生、わかば学級の子供たちが六年生の卒業を祝い、感謝の気持ちを込めた発表を行いました。歌や楽器の演奏、プレゼントのメダルなど、どれも素晴らしい発表になりました。



また、五年生に鼓笛の指揮杖が受け渡され、四年生と五年生とが鼓笛の演奏を行いました。堂々とした態度に、六年生の子供たちからは「安心して引き継げる」といった感動の声、「送り出された声、送られた声、寂しいような声が聞かれました。」



六年生からはお礼の気持ちを込め、合唱「かわらないもの」、合奏「君の瞳に恋してる」を発表しました。この日のために、六年生は在校生が「こんな六年生になりたい」と思ってくれるよう、音楽の時間だけでなく朝の時間や休み時間にも練習を重ねました。演奏に聞き入る在校生の姿から、この思いが届いたのではないかと感じています。

(特別活動部担当 久保田 智洋)



図工専科より

四月に港南小の子供たちと出会い、もうすぐ一年が経とうとしています。

図工の授業では、子供たちは自分で考え、工夫して作品に表すことに意欲的に取り組んでおり、また友達とかかわりながら楽しく活動しています。そして、完成したときには「できました！」と達成感を感じている姿が見られます。教師の予想を超えるような工夫や表現に出会えることも度々あります。そのようなときには、子供たちに

内在する想像力の豊かさを実感し、図工専科としての喜びを感じます。

週一回二時間は、図工の時間です。これからのしつかりと準備をして子供たちを迎え、さらに充実した授業にしていきたいと思います。

(図工専科 鬼塚 美海)



主事室より

休み時間が終わって清掃の時間になると、各教室のごみが収集場に運ばれ、そこで待っている当番の美化委員会の児童がしつかりと分別されているかどうかを確認・点検をしています。「これはまだ使えるのに」「これは燃やさないゴミだよ」という声がしばしば聞かれます。慣れない作業に戸惑いながらも最近では色々なところに目を向け、後片付けもきちんとできるようになってきました。

児童の皆さんの一生懸命に取り組む姿勢をこれ



(用務主事 富山 久美子)

からも大切にしてほしいと感じます。私たちが今まで経験してきたことを通して港南小学校に通う児童が過ごしやすい学校生活を送れるように努力していきたいと思えます。

写真クラブ

写真クラブでは、撮影した写真を使って掲示用作品に取り組みました。

一つ目の作品作りでは、デジタルカメラを持って校内写真撮影にチャレンジしました。普段見慣れたグラウンドや教室、ビオトープや屋上などに行き、いつもと違った視線でレンズを向けてきました。建物や遊具、生き物や花が新鮮な輝きに満ちて写っていました。その写真にフレームや飾りを付けて完成させました。この作品は、三階専科棟の家庭科室前の廊下に掲示されています。学校にお越しの際はぜひご覧ください。

二つ目の活動は新年のカレンダー作りです。自分で撮影した写真とクラブのメンバー全員で撮った記念写真を組み合わせ、個性豊かなカレンダーに仕上げました。先日、三年生のクラブ見学がありました。来年度も生活が楽しくなるよう、新しい仲間と活動をしていきます。

(写真クラブ担当 石井 直子)

演劇クラブ

今年も演劇クラブではオリジナルの台本による劇をみんなで作るために力を合わせて頑張っています。腹式呼吸による発声練習や体全体で表現するための練習に加え、一月からは始業前や中休みなどに練習を重ねてまいりました。

今回はラブコメディに挑戦しました。台詞の言い回しや表情の作り方が難しい場面が多くありましたが、一人一人が自分の役をしつかりとこなせると形になっていきまし

た。三月には演劇発表が行われました。昨年同様「楽しかった」と感じてもらえるよう、最後まで子供たちと頑張っていきたいと思えます。

演劇は、一人ではできません。役者に加え、照明・音響・舞台・小道具など、様々な要素が合わさってようやく一つの舞台が完成します。子供たちがみんな一つのものを作り上げるよさや達成感を味わえればと思っています。

(演劇クラブ担当 岡戸 奈都子)

栽培委員会

栽培委員会では、正門から玄関までの道に置いてあるプランターに花を植え、水やりをしたり雑草抜きをしたりしています。曜日ごとに担当を決めて中休みや昼休みを中心に活動し、毎月の委員会でも振り返りを行っています。「植物を大切にしたい」「見た人にきれいだと思ってもらいたい」といった願いから、一人一人がめあてをもって進んで活動しています。

温かい時期には、たくさんのお花がプランターいっぱい咲いており、子供たちからは進んで水やりや雑草抜きを行っていました。また、十月にはビオラやペコニアの苗を植え、花が弱らないように水の量に気を付けながら献身的に世話をすることが見られます。

今後子供たちが植物を大切に育つための心育を大切に育っていきます。

(栽培委員会担当 竹内 麻美)



地域ふれあい給食

二月十三日(月)に、「地域ふれあい給食」を行いました。お忙しい中、十三名の地域の方々が出席くださいました。

会議室にお待ちくださった方々を、五年生の各学級の児童がお迎えに上がりました。会食は児童の自己紹介等から始まり、地域の方々からは優しく働き掛けてくださり、楽しい時間は一層盛り上がりました。中には、クイズやゲームにまでお付き合いました。

地域の方々には平素より児童の近くにいるくださいます。児童は、これからはさらに自ら働きかけたいこう、と改めて考えていました。児童がいつか港南の地域社会に進んで参画する人材となるべく、これからもご指導をいただきたいと思えます。

お帰りの際、お一人から、「こんなに楽しい時間を過ごせてとてもよかったです」とお声をいただきました。私共も、感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

(栄養教諭 椎野 清美)